

(2) カリキュラム開発

拠点校には、学校設定教科「国際教養」を設定している。教科設置の目的は、「異なる言語・文化、世界の歴史や自然科学について幅広く学ぶことで、国際人として必要な教養を身に付けるとともに、様々な探究活動を通して、強い探究心と主体性をもって、国際社会で新たな価値を創造していく自立した態度を養う。」こととしており、この学校設定教科「国際教養」に複数の教科を融合した内容について探究活動を行う学校設定科目「グローバル探究」と英語以外の外国語やその文化について幅広く学ぶ「世界の言語」を設定している。

○ 学校設定科目「グローバル探究」

身近にある問題から探究のプロセスを繰り返す中で、自分自身の課題を設定し、フィールドワークやシンガポールでのスタディツアーなどで探究を深めながら、最終学年では、高校生国際会議の開催、日本語と英語での論文作成を目指す。

拠点校では、この「グローバル探究」を基幹科目と位置づけ、全教員が担当し、取組を進めている。(6つのゼミを2人ずつの教員が担当)

「グローバル探究Ⅰ」(1年次3単位 必修) ※社会と情報(2単位)を代替

「グローバル探究Ⅱ」(2年次3単位 必修) ※異文化理解(2単位)を代替

「グローバル探究Ⅲ」(3年次3単位 必修) → 次年度開講

○ 学校設定科目「世界の言語」

複数の言語を学ぶことで、言語間の共通点や相違点に気付き、言語そのものへの理解が深まるだけでなく、世界の多様性への意識を育むことができる。このため、5言語すべてを学ぶカリキュラムを奈良教育大学吉村雅仁教授の指導で開発・実践している。

「世界の言語Ⅰ」では4週間に1回、「世界の言語Ⅱ」では、毎回、日本人教員と各言語のネイティブ教員によるチームティーチングを実施している。

「世界の言語Ⅰ」(1年次2単位 必修)

「世界の言語Ⅱ」(2年次2単位 必修)

「世界の言語Ⅲ」(3年次2単位 選択)

○ 他教科での取組

・「総合英語」: ネイティブ教員による単独での授業を実施し、ライティングやプレゼンテーションの指導を行い、生徒の英語によるアウトプットの能力を向上させている。

・「ディベート・ディスカッション」(2年次2単位、3年次2単位全員履修)

地球規模の課題について英語でディベートやディスカッションができる力を付けるためネイティブ教員による授業を実施している。

ア グローバル探究I 全体計画

【対象】 1年生
【時間】 月曜 7 限、木曜 6・7 限
【目的】 1 学期 <ul style="list-style-type: none">● 世界の問題は自分ごとであることを知る（世界のさまざまな問題は私たちのくらしと密接につながっていることを知る）● 探究に必要な手法や考え方を身につける 2 学期 <ul style="list-style-type: none">● 興味関心がある分野から、それぞれが気になる持続可能性を阻害する問題について、探究テーマを設定し、原因を探りながら、より良い未来を作る方法を考える 3 学期 <ul style="list-style-type: none">● 探究活動からわかったことや提案などを発信する（プレゼンテーション）● ふりかえり
【計画】 1 学期 <ol style="list-style-type: none">1. 「しあわせ」「グローバル」とは<ul style="list-style-type: none">● Severn Suzuki、Jose Mujicaのスピーチから考える、グループワーク2. 「熱帯雨林」「ヒトと自然との関係」について考える<ul style="list-style-type: none">● 「生物多様性、生態系のバランスが崩れたら」・・・グループワーク● 筑波大学の研究チームによる「ポスト・アントロポセン」オンラインワークショップ3. ボルネオ島熱帯雨林の生物多様性の消失と私たちのくらし<ul style="list-style-type: none">● ボルネオ島の生物多様性 情報共有● パーム油調査 日々食べている・使っている商品を調査する● 『パーム油白書2020』パーム油のデータから見える事実● ロールプレイングゲーム パーム油を取りまくさまざまなステークホルダーと動物たちの立場に立って考える● 2年生による「熱帯雨林分断ゲーム」からアブラヤシプランテーションによる森の分断が野生動物に及ぼす影響を体感する● 旭川市旭山動物園とボルネオ島（ボルネオ保全トラスト・ジャパン現地スタッフ）と3点でつながり、オンラインワークショップ4. 「ボルネオ島の生物多様性保全のために私たちにできること」ファミリー（グループ）で課題を見つけ、夏休みに実践、夏休み後、発表 2 学期 <ul style="list-style-type: none">● 夏休みの実践をファミリーで情報交換、結果をまとめ、発表準備

- 「ボルネオ島の生物多様性保全のために自分たちが実践したこと」 共有会
- 6つのゼミテーマのアンケート調査
- 6つのゼミに分かれて探究活動
それぞれのゼミで、ファミリーに分かれ、自分たちの探究テーマを見つけ、活動

冬休み

- ゼミによって、ミーティング、調査、研修など実施

3学期

- 探究共有会に向けて、プレゼン準備
- 共有会

※ 3学期はコロナ禍により、グループワークに制限がかかったため、プレゼンテーションの代わりに、グループでの探究について、個別に報告書を作成オンライン上にアップロードし、クラスで共有する形をとった



ボルネオの生物を調べてファミリーで共有



『パーム油白書2020』データから読み取る



ロールプレイングゲームで意見を言い合う



「自分たちにできること」共有会

みんながでつくる

笑顔のコミュニティー

防災・まちづくり
福祉・医療
経済・教育 など

いのちの輝きを

未来に伝える

生物多様性
保全・共存

環境問題

蒼い地球を

未来につなぐ

気候変動
地球温暖化
エネルギー

持続可能な社会を目指して

For Our Sustainable Future

先人の知恵を
未来へ届ける

伝統文化継承
世界遺産
地域遺産

グローバルが

生み出す力

国際理解
国際協力
多文化共生

みんなちがうから、
みんなが支え合う

平和・人権
インクルーシブ
多様性

Mindfulness ・ Peacefulness ・ Well-being